

泉南市新家駅周辺地区バリアフリー基本構想(素案)パブリックコメントに係るご意見と市の考え方

No	頁	ご意見要旨	市の考え方(対応)案
1	40~	<p>【4.整備方針及び整備内容】 「線路を挟んだ海側・山側との交通をより安全にする」ことが求められてきた。本計画においても、新家駅施設、周辺道路及び踏切については特定事業として検討されているところであるが、具体的な取り組みについては、これまでと同様、各事業主体者任せではないだろうか。この基本構想を具体化するためには、府・JRなど各機関と計画を共有し、共通の実行計画を実施することが重要であるし、庁内計画との整合性を図らなければならない。</p> <p>【4.整備方針及び整備内容】 整備目標が長期となっている「駅のエレベーター設置」については、新家駅利用者のための施設と位置付けJR任せにするのではなく、改札口の外に設置すれば、鉄道利用者はもちろん、線路を横断する人たち（通学路としての利用する子ども達、また車イス、手押し車や乳母車を使用する人達等々あらゆる人々）が道路（通路）として利用できるのではないだろうか。エレベーターをはじめそれぞれの施設等については、バリアフリーの観点で考えるのではなくユニバーサルデザインの観点で取り組むべきである。</p> <p>【4.整備方針及び整備内容】 駅周辺には公衆トイレの設置がないため、駅に多目的トイレを設置するだけでなく、周辺の店舗やコンビニなどにトイレの使用協力を得（改修設置についての補助金支給についてもを要検討）、その情報提供をするなど、民間の方々の協力を仰ぐことも検討すればよいのではないだろうか。</p>	<p>ご指摘の内容は、重要な点であり、基本構想策定後も素案の【5.今後の取り組み】にもございます様に、継続的に市民、事業者、行政が一体となり事業の進行管理に務めてまいりたいと考えています。 (平成25年度から基本構想の検証を行う為に、協議会を定期的開催を予定) 特定事業計画に基づくバリアフリー化につきましては、各事業者の整備段階に応じて、事業者間で連携しながら、施設管理者の間でバリアが生じない様(例えば駅の入口と道路等)進めてまいりたいと考えています なお、駅施設のバリアフリー化事業は、平成25年度に着手できる様、予算を調製しております。</p> <p>改札外にエレベーターを設置する横断歩道橋につきましては、通常、駅舎の橋上化と一体的に整備することが多いところですが、現在、新家駅の橋上駅舎化の計画はございません。 また、単独で歩道橋を設置する方法もございますが、設置用地の確保、事業費等を勘案すると、具体化するには至りません。 しかしながら、踏切をできるだけ安全に通行していただける様に、補修は短期の内に実施し、長期的には、踏切の改善を促進するとともに、バリアフリー化とは、別の観点から、踏切付近の交通混雑の緩和を目指し、関係機関と通過交通の排除(踏切付近の自動車交通量を減じる)に向けて、協議を行ってまいります。</p> <p>今後、整備していく施設等につきましては、できる限りユニバーサルデザインの観点から整備に取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>バリアフリー法の面的・一体的なバリアフリー化という趣旨を踏まえ、今後、検討してまいりたいと考えます。</p>

No	頁	ご意見要旨	市の考え方(対応)案
2	43	<p><b>【情報の充実】</b>  電光掲示板は、「まもなく電車が来ます」や「先発 時 分 和歌山行 快速」という情報だけではなく、音声放送と同じ様に電車が遅れたり、運転見合せの時、災害時等の何かあった時の詳細な情報を提供して欲しい。  電光掲示板の設置が難しい場合、運行状況等を大きな紙に書いて、改札口・階段・待合室等に提示して欲しい。  ただし、新しい情報が入った場合、書き替えて提示することを徹底して欲しい。</p>	<p>運転見合せ時等の対応につきましては、引き続き改善を要請してまいりたいと考えております。</p> <p>JR西日本では、新家駅に電光掲示板を設置し、只今調整中としておりますが、平成25年秋頃には使用開始する予定とのことです。また、異常時には改札口付近に看板を設置し、大きな紙に状況を記載し、お知らせをしていただけるとの回答を得ております。</p>
		<p><b>【駅員のソフト対策】</b>  聴覚障害者理解のため、駅員対応の手話講習会を開催して欲しい。</p>	<p>素案の【(3)心のバリアフリーの推進- 理解を深めるための施策 】にもごさいます様に、「職員、事業者などへのバリアフリー研修の充実」を推進してまいります。</p> <p>JR西日本では、駅窓口には筆記用具を備えておりますので、筆談で対応していただけます。</p>
		<p><b>【非常ボタン】（呼び出し用）</b>  ・人がホームから転落した時  ・線路に物を落とした時  ・気分が悪い時  ・困った時等</p>	<p>呼び出し用のボタンにつきましては、心のバリアフリーを推進していくことで、相互理解を深め、対応していくことにより、解決されるものと考えます。</p> <p>現在、新家駅には、非常ボタンが設置されております。  ただし、非常ボタンの目的は「人がホームから転落した時」に列車が入ってこない様にするためのものであり、障害者に限らず「線路に物を落とした時」「気分が悪い」「困った時」等は駅係員にお知らせいただくことで、対応していただけます。</p>

## 泉南市新家駅周辺地区バリアフリー基本構想(素案) に対するパブリックコメントの結果

### パブリックコメント概要(結果)

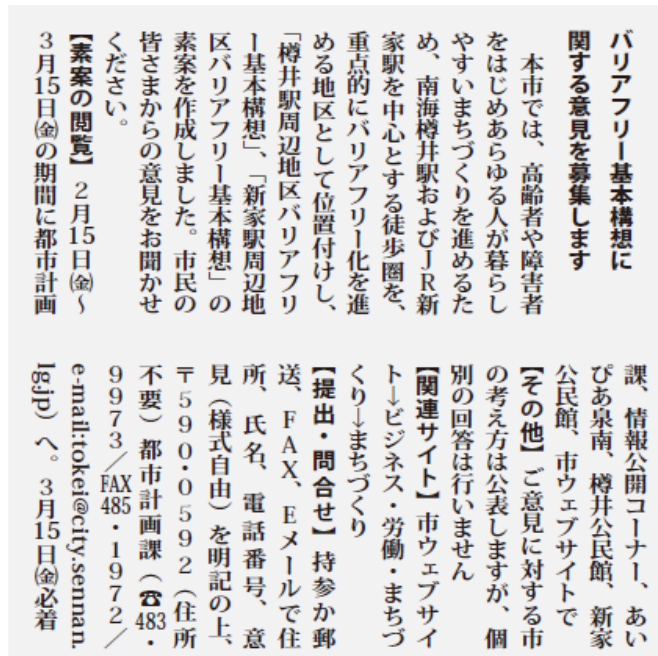
(1) 意見募集期間

平成25年2月15日(金)～平成25年3月15日(金)

(2) 意見募集方法

広報「せんなん」2月号に意見募集の旨、掲載。

・ 広報「せんなん」2013(平成25年)2月号 No.572



市ホームページでの電子メール、閲覧場所にある募集用紙

(ファクシミリ・郵送)

閲覧場所：5箇所 市役所内情報公開コーナー及び都市計画課

・ 樽井公民館・新家公民館・総合福祉センター(あいびあ泉南)

(3) 意見提出者

2名(募集用紙2通：内訳 電子メール1通、ファクシミリ1通)

(4) 意見の数

6件(2名)